



議会だより

ていすかす

120号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2024.2.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください

令和5年第4回定例会にて緊急質問を行いました



若木議員が学校給食共同調理場(学校給食センター)の広域設置について緊急質問を行いました。

(令和5年12月15日
(金) 本会議最終日)



目次	
決算審査	①～③ページ
一般質問	④～⑥ページ
その他	⑥ページ

予算・決算委員会(令和4年度決算審査) [令和5年10月23日(月)～25日(水)]



決算審査(左:10月23日 中央:10月24日 右:10月25日)

↑詳しい質疑の内容を録画配信でご覧いただけます。
スマートフォン等をお持ちの方は、左記の二次元コードからご覧下さい。

委員長概要報告

千田文孝

令和4年度各会計決算の認定に係る予算・決算委員会の審査経過と結果について、一般会計の歳出では各款ごとに約400件の主要事業と給与費に対し、100件以上の質問通告があり、それぞれ質疑し、歳入全般では、市税・寄付金についての質疑を行い、各委員の考えを提言しながら各事業の審査を行いました。

総括質疑については、これまで構成人数の多い会派から会派の所属人員に5分を乗じた時間を持ち時間として質疑を行っていました。が、少数会派が発言しやすいように、今回から所属人員の少ない会派から質疑を行うように変更しました。

これにより、それぞれ重複した質疑を避け、違った角度からより多くの議論を決算から次の予算に向けて交わすことができたものと評価しています。

一般会計及び特別会計ならびに企業会計について、採決では特に付帯意見を付することなく、全会一致で原案を認定することに決定しました。

給食センターからのSDGs周知強化を

天神林美彦

給食センターでは、SDGsの目標2の飢餓をゼロにを献立表やランチメールで周知している。

学校給食は、地産地消を基本として、食品ロスの削減など、今日の社会的課題に対して大きな役割があるといわれており、子どもたちに、さらにSDGsに興味を持ってもらえるよう、他の目標に対する周知も必要ではないか。

学校給食は、SDGsの他の目標も関連が多いことから別の目標を追加で献立表などに掲載することなどを検討する。

旧すかけ作業所の除却工事の実態は

金澤則男

定期安全点検の方法は目視による確認だけなのか。

目視による確認のほか、点検の際に写真を撮影しておき、次回点検を行う際に、撮影した写真と変わった点がないかなど、写真を見比べて確認も行っている。

除却工事期間中、市は、現場確認を行っていたのか。

工事着手前、工事着手中、工事完了後に、現場代理人立ち合いの下、工事監督員が確認を行っている。

フェーズフリー[※]の充実した新庁舎を 今野幹大

質 新庁舎のフェーズフリーの検討状況は。

答 日常時と非常時という2つのフェーズをフリーにするという意味で、設計段階からこのコンセプトについて検討し、昨年度に策定した基本設計において、フェーズフリー計画として記載している。

フェーズフリーの考え方は、新庁舎のみならず、さまざまなものの考えに対して有意義なものと認識しているので、今後も参考としていきたい。

※フェーズフリー…身の回りにあるものやサービスを日常時はもちろん、非常時にも役立つようデザインしようという考え方

災害発生時のために連携強化を 足立知也

質 令和4年度の総合防災訓練は、長雨による土砂災害を想定して行われ、捜索救助訓練では、NPO法人北海道災害救助犬の参加があった。

本市にある同法人は、北海道唯一であり、連携を深めていくべきでは。

答 NPO法人北海道災害救助犬とは、令和4年9月29日に災害協定を締結している。

同法人により開催された研修会にも参加し、どのように連携していくことが重要かを学び、連携を深めている。

鉄南ふれあいセンターの今後を問う 杉尾直樹

質 令和3年度に外壁調査、令和4年度に実施設計、令和5年度改修工事となっているが、改修工事では屋上・外壁・屋外避難階段を改修し、今後も長期活用すると考えるが、令和4年度の施設の利用状況を確認したい。

答 3階ホール176件、会議室294件、和室1号54件、和室2号74件、和室3号101件、調理室6件となっている。

質 施設を利用するアイヌ協会や利用者からの要望はないのか。

答 現在、要望は寄せられていない。

心と体の健康を保つために 井野正臣

質 健康相談は、心身の健康に影響する生活背景が多様であることから、相談者の状況により、関係機関との連携が重要と考えるが現状は。

答 令和4年に実施した心の健康相談は、家族からの相談を含め、令和3年度より20件増の36件で、内訳は電話相談が29件、来所相談が7件であった。

心身の不調はさまざまな要因が絡んでいることが多く、心のケアのため傾聴や相談ニーズに応じた対応に努め、関係団体と共に支援を行っている。

冬期における高台避難時の防寒対策は 戸井肇

質 東日本大震災時の津波避難では最大4日間高台に滞在していたとのことであるが、高台避難場所への備蓄についてどのように考えているか。

答 高台避難場所への滞在は24時間を想定していることから高台避難場所には備蓄は行っていないが、冬期における避難も考慮し、高台避難場所への備蓄倉庫の設置や民間施設内に食料や毛布、ストーブなどの備蓄、民間施設屋内への避難をお願いするなど、寒冷地対策を検討する。

乗務員不足への課題の受け止めは 伊藤健太

質 地域公共交通等検討会議経費において、民間バス、タクシーの乗務員不足をどう受け止めているか質問しました。

答 乗務員不足に対する課題解決へ向けた協議を登別市地域公共交通活性化協議会の協議事項として、ますます求められてくると考えるが見解は。

答 人材不足の問題は全国的な問題であり、基礎自治体だけで解決できる問題ではないため、北海道の公共交通計画を策定していく中でも議論しながら、事業者の意見を伺い検討していく。

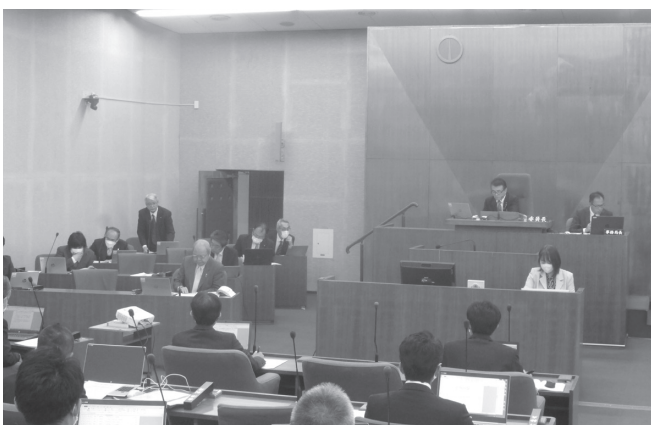
高齢者安全運転装置設置の結果は 佐々木久美子

質 この事業の補助金交付数は11人ということだが、どのように捉えているか。

答 10人前後を想定していたが、結果11人の方が安全運転支援装置を設置し、想定内と捉えている。

質 この事業の利用者にアンケート調査を実施しているということだが、その内容は。

答 運転免許証返納についての質問では、80歳頃に返納予定と答えた方が64%の回答であった。



▲予算・決算委員会の様子

キャリアアカウンセリングの方向性は
村井寿行

質 若年等キャリアアカウンセリング事業でコロナ禍の影響はあったのか。

答 コロナ禍前に比べ相談者が減った。

質 キャリアコンサルタントの個別相談や就職支援セミナーにより、どのような効果につながっているのか。

答 話を聞いてもらい気持ちがあんなった、自信が持てたなどの声があった。

質 本事業開始から10年以上経過したが、今後の方向性についての考えは。

答 適宜、事業評価等の検証を行う。

損傷の激しい市道の整備はいかに
小栗義朗

質 現在、市道は道路施設の老朽化により補修箇所が増え続けており、部分的な修繕を繰り返すことで路面の損傷が激しくなっているが、今後は、計画的な大規模修繕事業費も視野に入れて整備を進める必要があるのでは。

答 大規模な修繕は市道舗装排水整備事業において整備することになるが、近年の物価高騰や労務単価の上昇で市道舗装排水整備事業での整備が進んでいないため、今後、財源確保に努め市道整備を進めていきたい。

都市公園の維持管理と将来展望は
成田昭浩

質 毎年度支出する経費と費用対効果などを踏まえ、公園施設の在り方や利用促進について、将来展望への見解は。

答 これまでの維持管理方法を精査し、効率的な方法の模索、民間企業や市民の協力が得られる手法、他自治体の事例を参考にしながら検討する。

さらには、地域との協議や市民アンケートの活用などにより、市民ニーズを把握し自由な発想で公園施設の在り方や新たな活用方法、方向性を地域とともに検討する。

スクールカウンセラーの活用は
岩田恵

質 道費に加え、市費でもスクールカウンセラーを任用する理由は。

答 令和4年度のスクールカウンセラーは4名の配置で、相談者が抱える悩みが、複雑化、多様化している学校では、これまで以上の相談体制が求められていることから、市教育委員会では、この事業の充実を図り、児童生徒のよりきめ細やかな相談を可能とすることで、学級担任、養護教諭との情報共有の時間確保、教職員の精神的な負担軽減へとつながっている。

市民会館の大ホール搬入口の改修を
田中寛志

質 市民会館の大ホールの搬入口の高さが合わず、機材などの搬入や搬出で不便を感じているという声があるが、大ホールの搬入口を改修する予定はないのか。

答 市民会館については、令和11年までを計画期間とした長寿命化改修を実施することとしている。

今後長期にわたって多くの市民に利用していただけるよう、今回指摘を受けた搬入口のことも含め、改修内容を検討していく。

中学校部活動地域移行への準備体制は
宮武祥子

質 令和4年度終了の地域運動部活動推進事業費の事業効果は。

答 部活動地域移行の実践研究としての国の採択を受け、全国に先駆けて本事業を実施したことにより、地域クラブの設立へとつながった。

質 地域移行への課題と今後は。

答 地域クラブへの移行により、子どもたちの選択肢が広がる一方、家庭の経費負担増・移動手段・指導者確保が課題として見え、地域クラブに移行しても加入しやすい体制を検討していく。

市税収入の今後の見通しは
若木康夫

質 市税は自主財源の要となる重要な税収である。

個人分と法人分を合わせた市税は令和3年までは22億円をキープしていたが、令和4年度決算ではこれを下回ったことから市税の今後の見通しは。

答 今後も少子高齢化の進展による人口減の影響のほか、総人口に占める生産年齢の人口割合の減少により、所得の減少や経済規模の縮小などが進み、本市も同様の傾向にあるため、市税収入は減少傾向をたどるものと考ええる。



▲予算・決算委員会の様子

令和5年第4回定例会 一般質問

[令和5年12月4日(月)～12月7日(木)]



金澤議員の
一般質問
中継はこちら

今季の除雪対策は
金澤則男

質 除雪出動の基準は。
答 車道と歩道共に新雪の降雪量が15センチメートル以上になった場合に出動することとしている。なお、気温の変化によるザクザク路面や、わだちの発生、自動車の走行が困難な場合には、

質 高齢者支援策としての除雪支援は。
答 現在本市において、高齢者支援策としての除雪支援は行っていない。今後、他自治体の支援策の事例などについて、情報収集に努めていきたいと考えている。

質 市営住宅敷地の除雪の状況は。
答 基本的には住民の方々に除雪をお願いしているが、いつも同じ方が除雪をしていると何度かお聞きしており、協同で対応していただきたい。また、そのようにご理解いただけるよう周知に努めていきたい。

質 路面状況に合わせた除雪を行っている。
質 市営住宅敷地の除雪の状況は。
答 基本的には住民の方々に除雪をお願いしているが、いつも同じ方が除雪をしていると何度かお聞きしており、協同で対応していただきたい。また、そのようにご理解いただけるよう周知に努めていきたい。



田中議員の
一般質問
中継はこちら

第9期介護保険事業計画は
どうなる
小栗義朗

質 いわゆる団塊の世代の全てが75歳以上となる20年には高齢者人口がピークを迎え、第8期計画では新たな地域密着型サービスは整備されなかったが、サービス提供体制は十分なのか。
答 現状では、在宅生活継続のために

質 国からは、基金残高等が相当程度積みあがっている保険者においては、保険料の上昇の抑制に充当するなどして、適切な保険料を検討するよう通知されており、第9期計画においては、基金を活用することとして保険料基準額の検討を行っている。

質 介護保険料は全国平均よりも安く設定されているが、介護給付費準備基金も膨らんでいることから、基金の取り崩しに対する考えは。
答 国からは、基金残高等が相当程度積みあがっている保険者においては、保険料の上昇の抑制に充当するなどして、適切な保険料を検討するよう通知されており、第9期計画においては、基金を活用することとして保険料基準額の検討を行っている。

質 65歳以上の高齢者人口が最大となる20年頃には本市の人口が3万人前後になると国の予測が出されているが、本市の対策について伺う。
答 将来的には市税収入の減少や地域産業の担い手の減少などが想定され、

質 65歳以上の高齢者人口が最大となる20年頃には本市の人口が3万人前後になると国の予測が出されているが、本市の対策について伺う。
答 将来的には市税収入の減少や地域産業の担い手の減少などが想定され、



田中議員の
一般質問
中継はこちら

17年後の登別市の人口が
3万人前後になります
田中寛志

行政サービスをこれまで同様に提供することが難しくなると考えており、自治体戦略20構想で指摘されているさまざまな課題に直面すると考えている。本市では、第2期登別市まち・ひと・しごと創生総合戦略での人口ビジョンにおいて、地域の将来に与える影響を分析し考察を加え市民に公表しているが、将来にわたり、市民の安全・安心な暮らしを守るための行政サービスを提供し続けるには、人口減少に伴う課題や危機感を市民と共有し市民の理解をいただきながら行政サービス改善や廃止も含めて、持続可能な形に変えていくことが必要と考えている。

中央地区に宿泊施設や 集宴会場が必要では 若木 康夫



若木議員の
一般質問
中継はこちら

質 令和2年にホテル平安が営業を終えてから、中央地区にはホテルや大きな集会や宴会を行う施設がなく、市民からの要望が多い。
ビジネスホテルなどの誘致は中央地区の活性化に資するものと考えて、

答 本市の見解を伺う。
これまで、各種団体などの意見交換会において宿泊・集宴会場の必要性について意見・要望が多いことは十分に承知している。

中央地区まちづくり協議会において検討・協議を進めており、現在本市の方向性は決まっていない。ただし、提言を踏まえ、本市としてビジネスホテルなどの施設を誘致した場合は、先自治体の事例を参考にし、誘致の検討を進めることになる。
今後予定している市場調査の結果を参考に新規事業者へのインセンティブ（誘因、奨励）の内容も検討したい。

児童生徒の意見の表明と 反映に向けて 足立 知也



足立議員の
一般質問
中継はこちら

質 いじめは、不登校や転校などをした被害者ばかりが悩んでいる。
被害児童生徒から、加害児童生徒の出席停止などを求める声があがった場合、どのように対応するのか。
答 いじめ防止対策推進法では、いじ

めを行った児童等の保護者に対して、当該児童等の出席停止を命ずるなど、いじめを受けた児童等、その他の児童等が安心して教育を受けられるようにするために、必要な措置を速やかに講ずることができるとなっている。
いじめがあった場合、早期に発見し、いじめられている児童生徒や保護者に寄り添い、早期に解決できるように取り組みを進めている。

質 児童生徒と市長との意見交換会の開催の考えは。
答 児童生徒と意見交換することは、非常に良いことだと思っており、やってみたいと思っている。

公共交通空白地域での 実証実験の結果と評価は 佐々木 久美子



佐々木議員の
一般質問
中継はこちら

質 実証実験の利用状況は。
答 延べ人数は893人で、アーニス前での乗降が多く、常盤町や柏木町からの利用が多かった。
また、商業施設の開店時間を想定した9時45分発が多く利用された。

質 アンケートの調査結果は。
答 買い物目的が47・5%で、商業施設の開店時間に併せた第2便が多く、買い物ニーズが多かった。
また、利用者負担は91・8%の方が有料でも利用したいとの回答であった。

質 有料の場合で一番多かった金額は。
答 1回200円の回答が多かった。
質 地域公共交通計画では、空白地域は予約運行型とあるが今後の考えは。
答 コミュニティバスや路線型やデマンド型の乗合タクシーなど、適したものを検討したい。
市民は早期の実施を望んでおり、早急に実施すべきだと訴えました。

市職員の人材育成と 組織運営の今後は 伊藤 健太



伊藤議員の
一般質問
中継はこちら

質 本年7月に登別市人材育成基本方針が改訂されたことから、策定当時との変更点や今後の組織運営への在り方について質問しました。
答 改訂に至った経緯と目的は。
平成17年3月の策定から期間が経

過し、時代のニーズや社会情勢も変化しており、現状に沿った方針となるよう、また、市職員の能力や意欲のさらなる向上を目指して改訂した。

質 人材育成基本方針と運動した組織運営の在り方については。
答 職員が自らの資質をより一層高めようとする向上心を持ち、自己啓発に取り組み姿勢が大切であり、また、職員の意欲を高めて組織を活性化していくためには、管理職をはじめ全職員の意識改革が必要と考えている。今後も基本方針にのっとり、職員の自発的な取り組みの支援や職場環境の整備、人事管理体制の構築などに努めていく。

本市における景観・美観のまちづくりは

岩田 恵



岩田議員の一般質問
中継はこちら

歩道の街路樹、花壇の整備は。

街路樹は、国道、道道、市道のそれぞれの道路管理者が、適切な維持管理をしており、花壇は、各道路管理者と本市職員、町内会、企業などが協働で行っている。

多文化共生のまちづくりに向けて

今野 幹大



今野議員の一般質問
中継はこちら

新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類感染症に移行され、本市において、技能実習や特定技能の外国人の転入が毎月増え続けています。国の制度見直しにより、今後ますます増加傾向にある背景を踏まえ、外国

歩道へのベンチ設置は。設置場所や維持管理の方法など、地域と協議し検討はできる。

亀田記念公園周辺、旧天華園跡地のソーラーパネル設置場所についての見解は。

登別市景観とみどりの条例は、遺産指定区域以外は規制等を示していないので、景観形成への特段の配慮をお願いをしているところであり、条例の見直しは考えてない。

市長からは今後、計画や策定が必要であれば、必要な経費を添えて、色々と計画していきたいとの答弁も示されました。

住民との多文化共生の考えを質問しました。

増加傾向にある外国人住民との多文化共生のためにも、登別版多文化共生ビジョン等の策定を検討しては。

国は、人材の確保と育成を目的とした外国人技能実習制度の見直しを検討しており、今後、地方においても外国人材の受け入れがこれまで以上に進んでいくことが想定されるので、市内事業者による外国人材の受け入れ動向を注視するとともに、外国人住民がどのような支援を必要としているのか、確認しながら本市の取り組みに反映させていきたい。

通学路における安全対策は

戸井 肇



戸井議員の一般質問
中継はこちら

現在、防犯灯の設置については各町内会が行い、市がそれを補助する形で進められています。

通学路になっている幹線道路は、各町内会の境界になっていることも多いことなどから防犯灯が設置されず、暗

い中を中学生が帰宅する箇所が散見されることから、通学路での防犯灯設置の考えについて質問しました。

通学路となっている幹線道路において、行政負担で防犯灯を設置する考えは。

従来そのエリアの町内会と相談、対応をお願いしていたが、今後学校から暗くて危険という声が上がってきた場合、通学路安全推進協議会の中で防犯灯などの必要性について協議する。

その他、ギガスクールの現状について質問を行い、現在児童生徒の常時端末を持ち帰りを進めるため、課題の精査を行っているとの答弁がありました。

令和5年第4回定例会における議案の賛否状況

第4回定例会で上程された議案はすべて可決されました。また、令和5年度登別市一般会計補正予算（第6号）について、今後の国の交付金等の活用については、可能な限り速やかに支援に努めるよう附帯意見を決議しました。

国会・政府に4件の意見書を提出

第4回定例会では次の意見書を可決し、国会・政府へ提出しました。詳しい内容は、市議会ウェブサイトをご覧ください。

- 医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書
- 食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書
- 認知症との共生社会の実現を求める意見書
- 刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書

議会中継をスマートフォンなどで閲覧しませんか？

令和6年第1回定例会は2月14日(水)から開催される予定です。本会議や各委員会は、自由に傍聴することができます。また、スマートフォンやパソコンで、生中継、過去の録画中継をご覧ください。



発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会

問い合わせ ☎9220 / ✉gikai@city.noboribetsu.lg.jp